



大砂土中だより

はつ らつ

澗 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No. 1 1 令和5年3月1日号

大きな古時計

校長 上統 昌司

『大きなのっぽの古時計 おじいさんの時計 百年いつも動いていた ご自慢の時計さ
おじいさんの生まれた朝に 買ってきた時計さ 今はもう動かない その時計』

童謡「大きな古時計」の1番の歌詞です。この歌と同じような古時計が大砂土中学校にも存在します。それは、1、2年生が使う昇降口にありますが皆さんは知っていますか？よく見ると「昭和25年7月吉日落成記念」と記されています。大砂土中学校が開校して間もない時に設置されたようです。既に70年以上経っています。その横には電波時計があり、時計自らが電波をキャッチしほぼ狂うことなく正確に時を刻んでくれます。対照的に木製の古時計は、人間がねじを巻いてあげないと動いてはくれません。カバーとなっている扉を開き、ねじを巻きます。次に時刻を合わせるために指で長針を時計回りに動かします。丁度その時刻に合わせるのですが、数字の所に動かただけでは上手くいかず、少しずつ少しずつ動かしながら調整します。そして最後に振り子を指で右方向に動かして終了です。扉を閉めてしばらく眺めていると長針が一目盛り先に進み、動き始めたことが確認できます。さらに長針が、12の所に進んだ時「ポーン」という音が小さく響きます。小さい音ではありますが、何とも言えない音色で、やさしい響きです。時計に近づき、耳を澄ますと「チクタク チクタク」と時を刻む音も聞こえてきます。電波時計のように電池さえ入れておけば、何も手を加える必要のない便利な物が今の時代はあふれています。しかし、この古時計のように、毎日、人間の手で調整する必要のある物のように、愛情を注ぎ続けることで輝く物も大切にしたいですね。

3年生の皆さん、第74回卒業証書授与式まで残り少なくなりましたね。この3年間様々な出来事があったと思います。嬉しいことも悲しいことも仲間とともに分かち合い、協力しながら乗り越えてきたはずです。大砂土中学校で学んだことを誇りに思い、立派な姿で卒業して行ってほしいと思います。そして、2年生、1年生の皆さんは先輩たちが築いてきた伝統を引き継ぎ、新しい時代を力強く進んでいきましょう。古時計は、3年生を見送り、新入生を迎え、これからも時を刻み続けてくれることでしょう。

最後に、地域の皆様、保護者の皆様、本年度も本校の教育活動に、ご支援、ご理解をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後も、引き続き大砂土中学校を温かく見守っていただきますよう、よろしく申し上げます。